

情館 の

悦 ぎ 子

R18

★★★

CAUTION!

前回までのあらすじ

御崎市への“王”の襲撃に乗じた卑劣な異により、シヤナは一体の“徒”の手中に落ちた。

異能を封じられた彼女を待ち受けていたのは、好色な“徒”による淫辱の日々であった。愛する者と誓うべき唇は触手に奪われ、無垢な身体は秘された快楽を暴かれた。

矮躯を肉悦と白濁に染め上げられながらも屈さず反撃の機を窺い続けるシヤナに対し“徒”が課した次なる苦難は——《娼館》。

それなるは情欲の城。退廃の魔窟。

異邦の存在すら墮せしめんとする《調教部屋》で館の作法を刻み込まれた少女は、今宵も淫靡な衣装に身を包み、背徳の肢体をさらけ出す。

弱々しくも未だ瞳に抵抗の火を灯すシヤナ。彼女を貶めるべく人界の悪意が牙を剥く——





とても
かわいらしい
お嬢さんだと

ビクッ



シヤナちゃんを
いたく気に入った
ご様子だったよ

クニクニ



んん
何か挿れてるな？

ビクッ

とんっ



シヤナちゃん…
だったかな？

ハァ

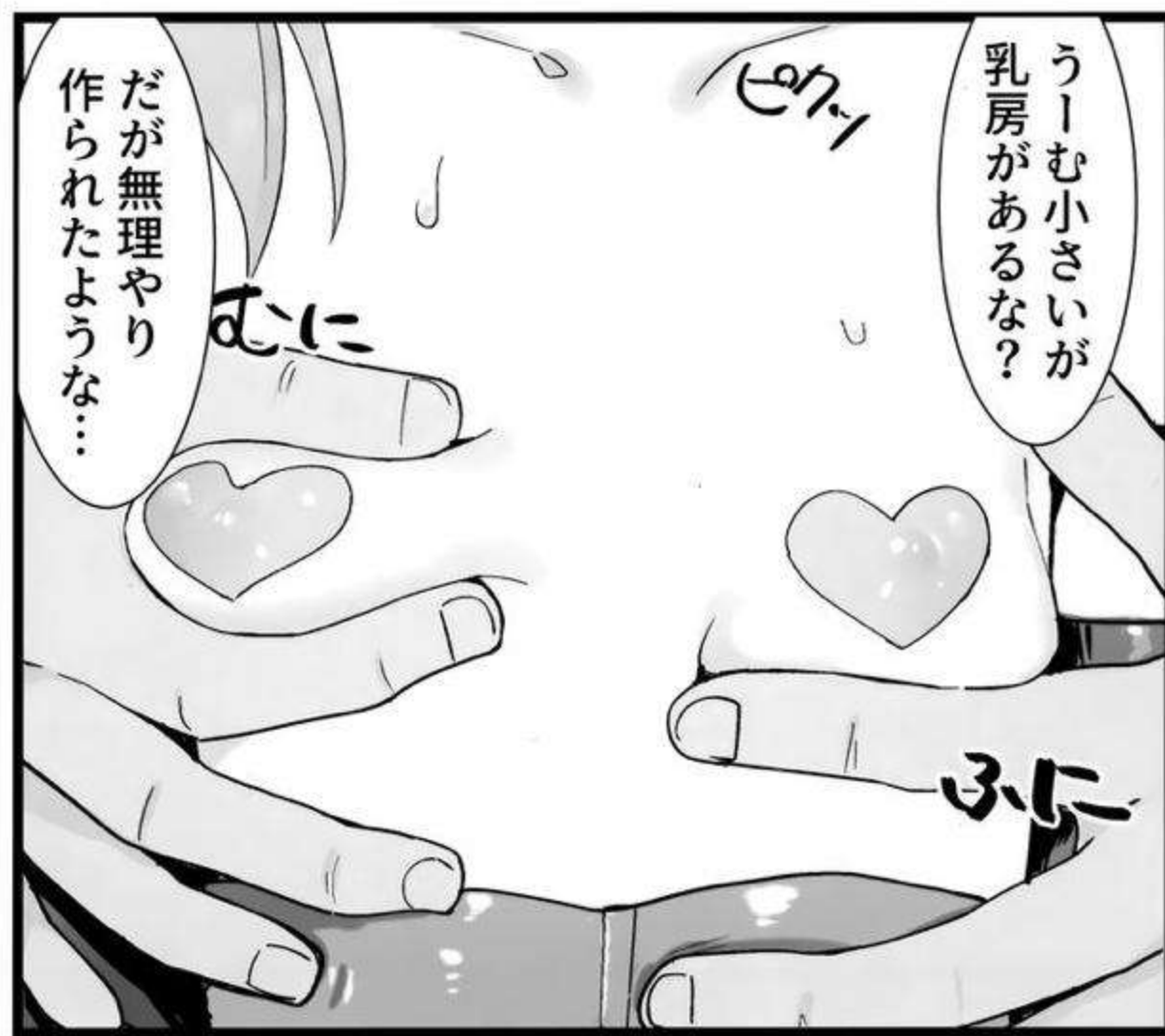
君のことは
〇〇長官に
伺ってね



気になるが…
まずはこっちだ

あ…

お





ふっは

ガチガチだねえ

大丈夫
私は長官どのほど
倒錯的じゃないよ



さあ
ベッドに行こうか

…はい

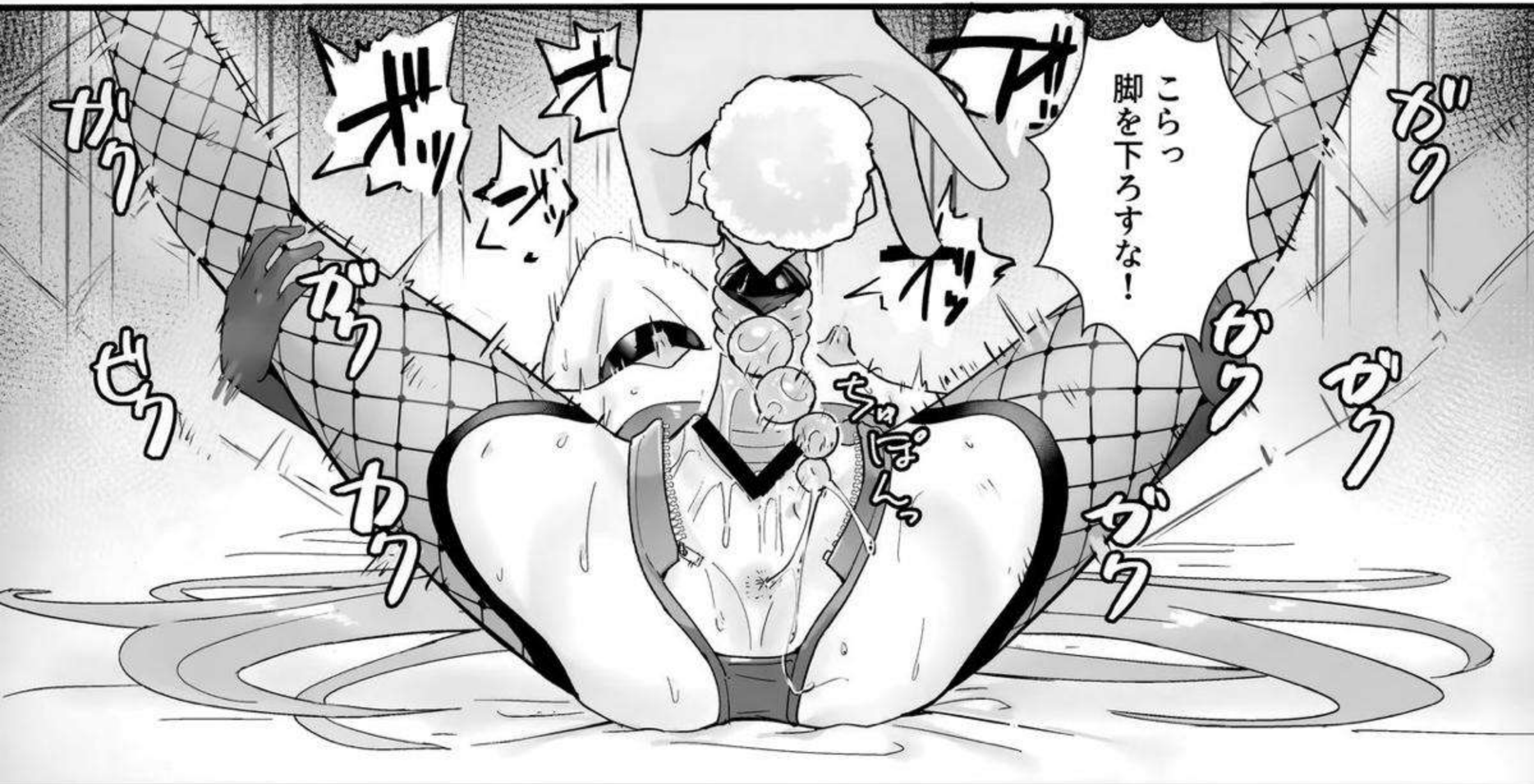


わ
い

なるほど
こういう構造か

抜くぞ
脚はそのままだぞ







せり

ちゅぽぽぽ

なるほど

これは
楽しみだな

ははは

年甲斐もなく
興奮してしまっただよ

ヒューン
ヒューン

シヤナちゃんも準備は
できてるようだし…

ギン

ザン

それでは
失礼して

お前



改めて見ると
小さいな

全部入るか?

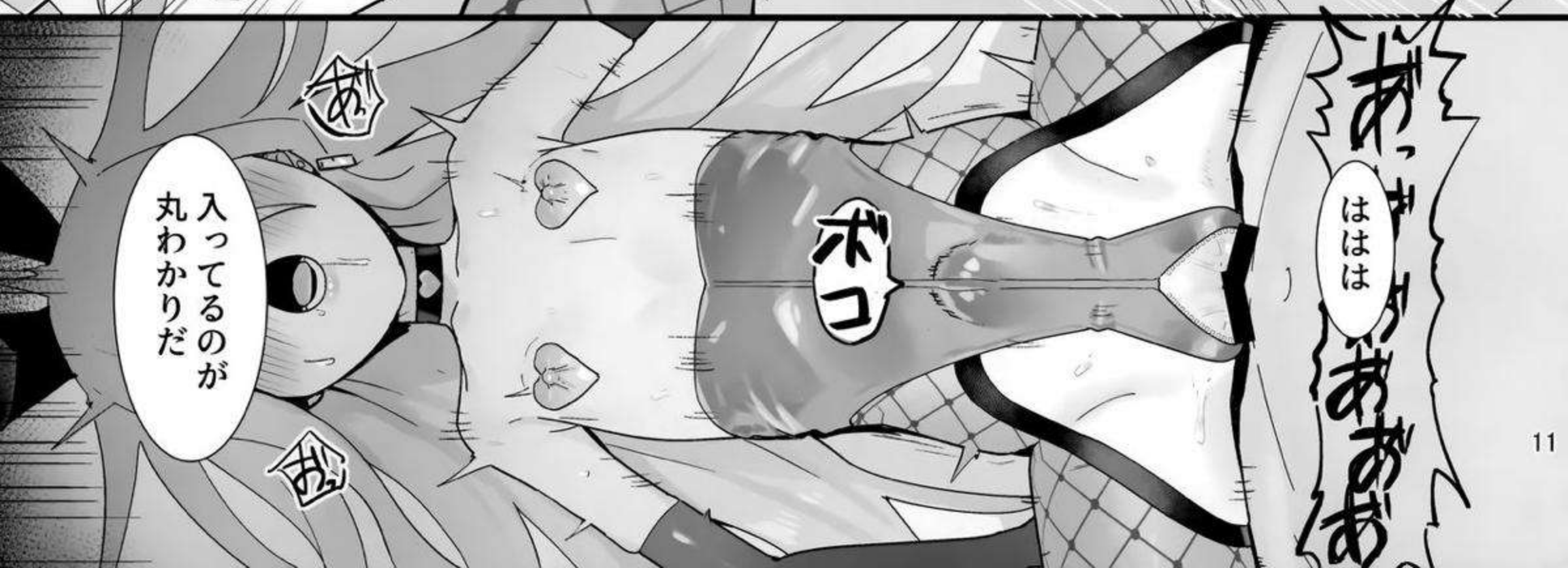
ま...
待って...

今はだ

め

クッ

フッ
フッ
フッ



入ってるのが
丸わかりだ

ボコ

ははは

おっ
おっ
おっ

挿れただけなのに
随分気持ち
よさそうだね？

いやしい身体だ



そろ！

あッ

あッ
あッ
あッ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

思ったとおりだ！

名器だな
これは！

はっ
はっ
はっ
かり…





し、搾り取られる…!

ズッ

ズッ

キョ

くっ中も
うねって…

キョ

ズッ

あんなものが
入っていたとは思えん締めまり!

ズッ



この淫乱
娘め!

あッ
こんなになるまで
一体何人啜え込んで
来たんだ?

ズッ

う…
うるるる
うるるる
うるるる
う…!



悔しい…
のに…

カリ

ズッ



口は勝手に



教え込まれた
卑猥な言葉を

紡ごうとす

も...
らめっ

ぐんぐん

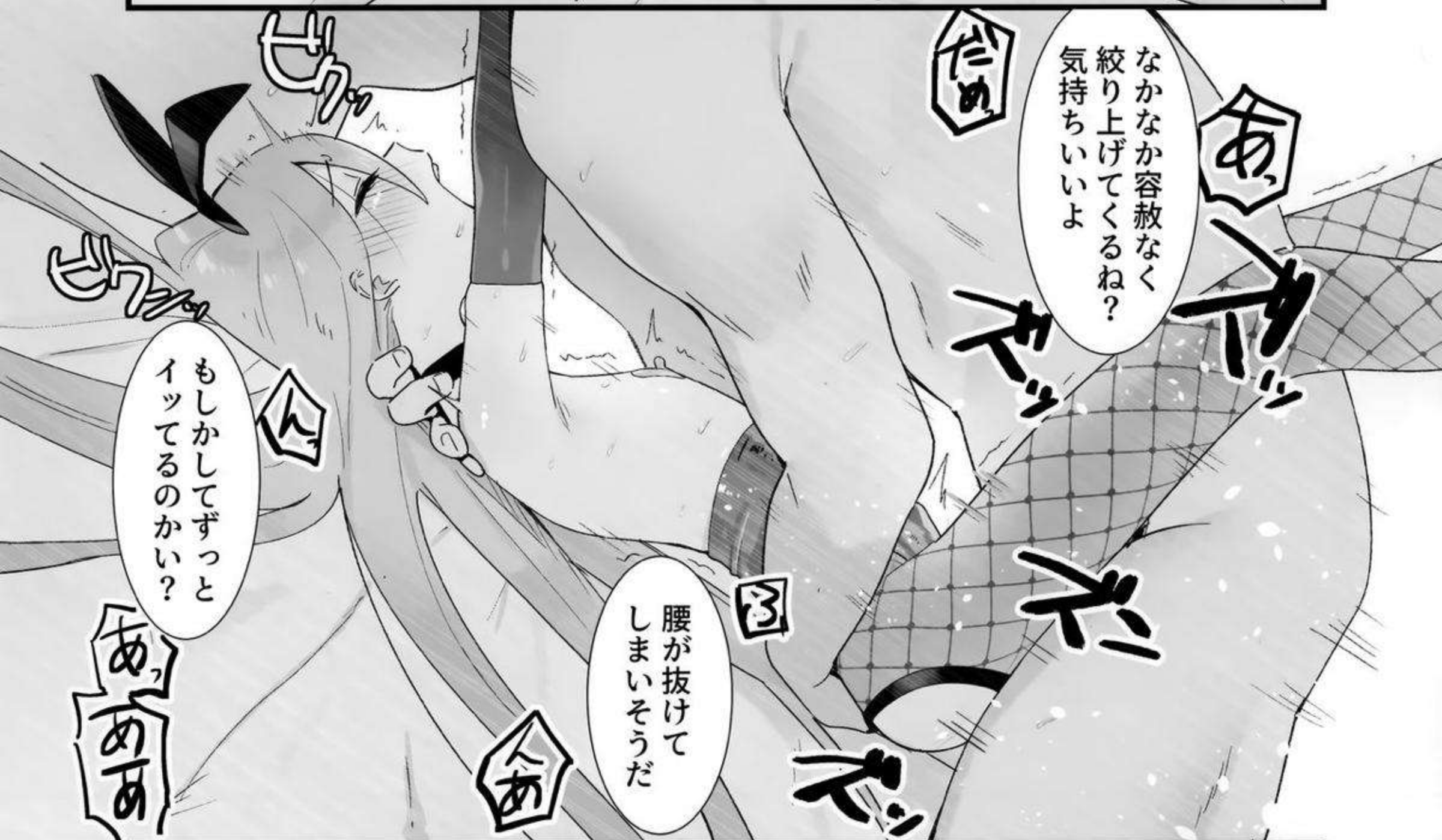
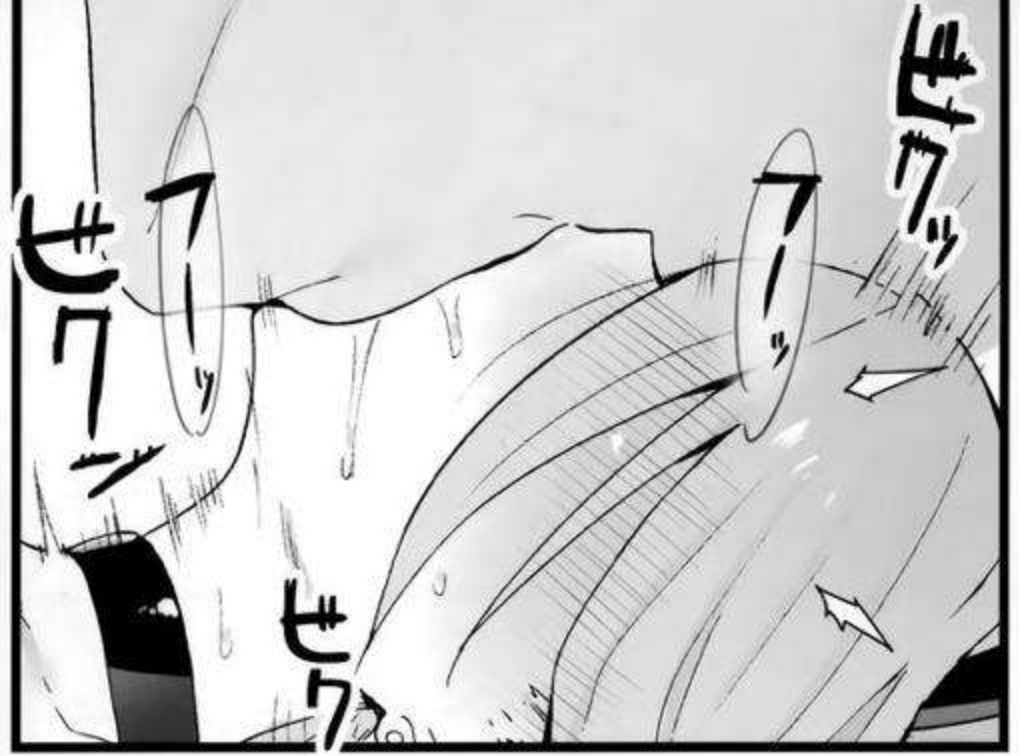
また...

ぐんぐん

ぐんぐん



ぐんぐん





胸内を
くぐり抜けた

だ、だ、だ、
射精だ

びゅるるるるる

セク

セク

セク

…ふー
出た出た

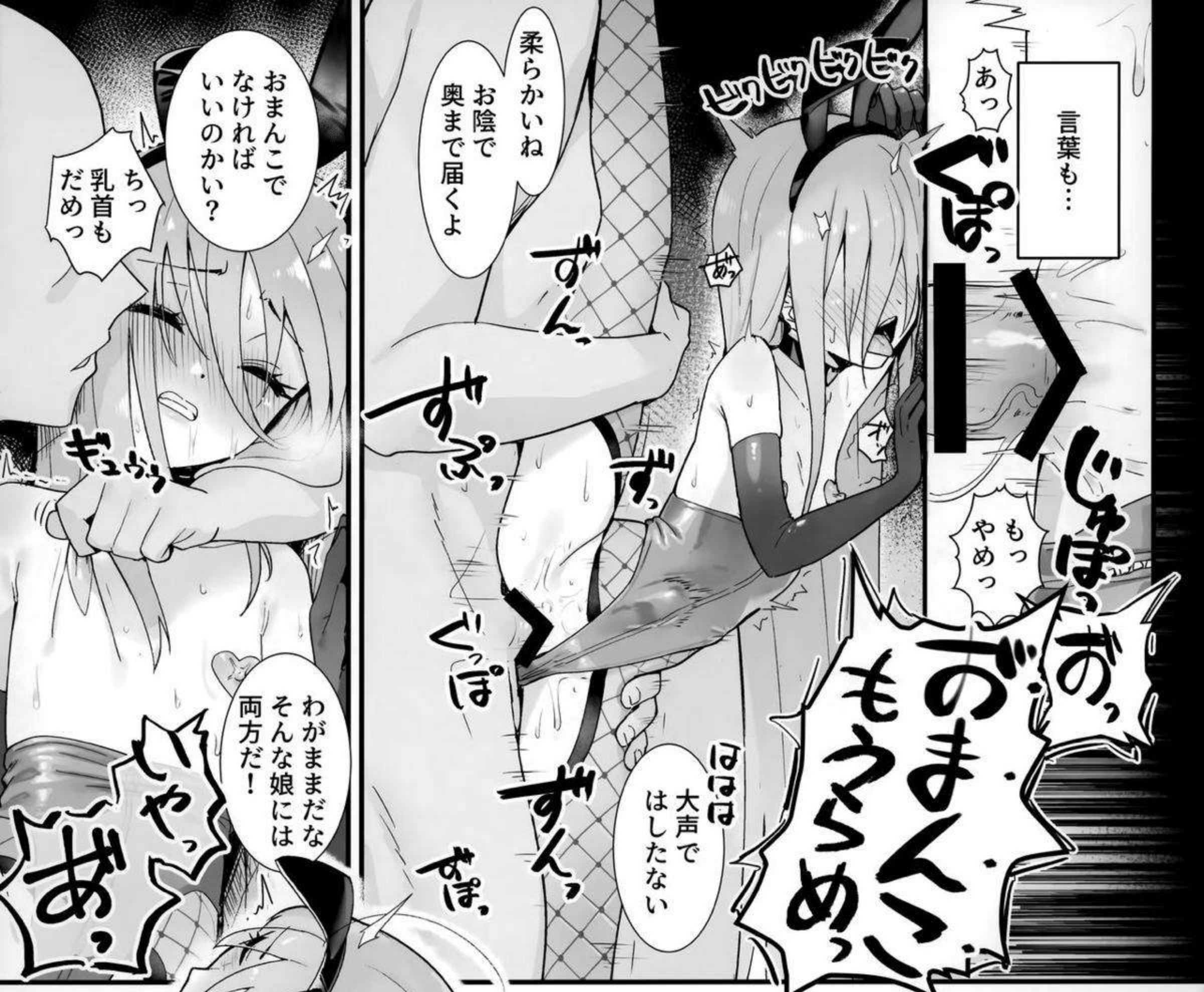
とびとび…



まだまだ時間は
たっぷりある

お互い
楽しもう
じゃないか

私は
変えられて
しまった



言葉も...

あっ

ビビビビ

柔らかいね

お陰で奥まで届くよ

おまんこでなければいいのかい?

ちっ 乳首もだめっ

あー

もっ やめっ

ももまぐめ

ははは

大声ではしたない

ずん

ずぶ

ず

ぐっぽ

ずん

ずぼ

わがまままだなそんな娘には両方だ!

いやっ

あー



なんて腰使いだ

あ

ズン

ズン

ズン

ズン

ん

そんなにこのちんぽが気に入ったかい?

あーあー

あっ

違っ

あっ

身体も

びゅるるるるる



思い通りに
ならない



ぐっ 喉奥...!!

よく舐られて
いるようだな

キスの生娘のような
反応は不安だったが



だけどせめて
心だけは...



射精るっ...!!

全部飲めっ!

そっ
そっ
そっちは違っ…

あんな玩具を
入れておいて
今更何を言うんだ

シヤナちゃん?
休憩かい?

それならここを
使わせて
もらおうかな

なんだ
こんなところも
開発済みか

まだまだ
生き返るには足りない!!

イタス!!

イタス!!

イタス!!

うっ…
ふう

そろそろ時間か
名残惜しいな

そうだシヤナちゃん
私の専属に
ならないかい？

私のちんぽ
好きだろう？

すきじゃな…

おおおおおお
おおおお

やれやれ
散々よがって
下品な言葉で
喘いでおきながら

この期に及んで
リップサービスも
できないとは…
お堅いことだ

そそられるな

長官どのも
お気に召すわけだ

そんなお高く
とまった娘には…

—ねえ
アラストール

?!



こうだ!

締め付けが一層
強くなったぞ

このスキモノめ!

抜ッ
……
抜ッ

やはりアナルが
弱点か!



強情だな!
いいぞ!

ちんぽは好きか!

私……
決められてる?

自分の気持ち
自分で
決められてる?



いき狂え!!

ズッ
4₂

ハッ
4₂
ハッ
4₂
ハッ
4₂

アッ
4₂

アッ
4₂

アッ
4₂

アッ
4₂

アッ
4₂

アッ
4₂



今日はとても
楽しめたよ

また次も
よろしく頼むよ
シヤナちゃん

To be continued...

あとがき

こんにちは、有魚です。

創作活動n年目にしようやく1作目の本をお届けすることができました。

前回までのあらすじとありますが1作目です。

こんな導入になったのは納得いくシャナの敗北シーンが浮かばず、妄想が先走りシリーズが続いた場合の4冊目とか5冊目とかの話が先に出来上がってしまったのが原因です。

ネタを温めすぎてキャラ原型がなくなるぐらい煮詰まってしまったのはさすがに反省してる...

シャナの魅力は考えるとキリがありませんが、一つ挙げるなら、使命のために育てられながらその内容をちゃんと吟味し、自分で考えた上で果たすことを選ぶという、作品によっては何巻も積み重ねて見出す自己決定の大切さを最初から認識していたことが言えます。

作中で彼女自身や情勢が変化しても、初めに批判し自分で決めていたからこそ揺らぐことのなかったシャナの己の強さにはただ意固地というだけでは得られない貴さがあります。

なので彼女が不本意な自己決定をしたり(明確に要求されてない期待にやられてしまう)

自分で考えたという前提を揺るがされたり(本当に自分で決めたか?)するとえっちなのでは??

そういうわけでコスプレ娼館ものの本作でした。本当に考えて作ったか?

『灼眼のシャナ』は原作20周年も目前となってまいりました。

私の本を手にとってくださった方で全く『シャナ』に触れたことのない人はそういないと思いますが、もしいらっしゃいましたらこの機会に是非いかがでしょうか。

こんなリスペクトもない作風ですが少しでも原作に触れるきっかけになったなら嬉しみがありません。

ここまで読んでいただきありがとうございました!

制作中に度々不安になる私を励まして完成まで漕ぎつかせてくれた知人、フォロワーの皆さまにも心より感謝申し上げます。

次こそは『前回』のお話でお会いしましょう。

やっぱり思いつかなくて別の話を描いてしまうかもしれん





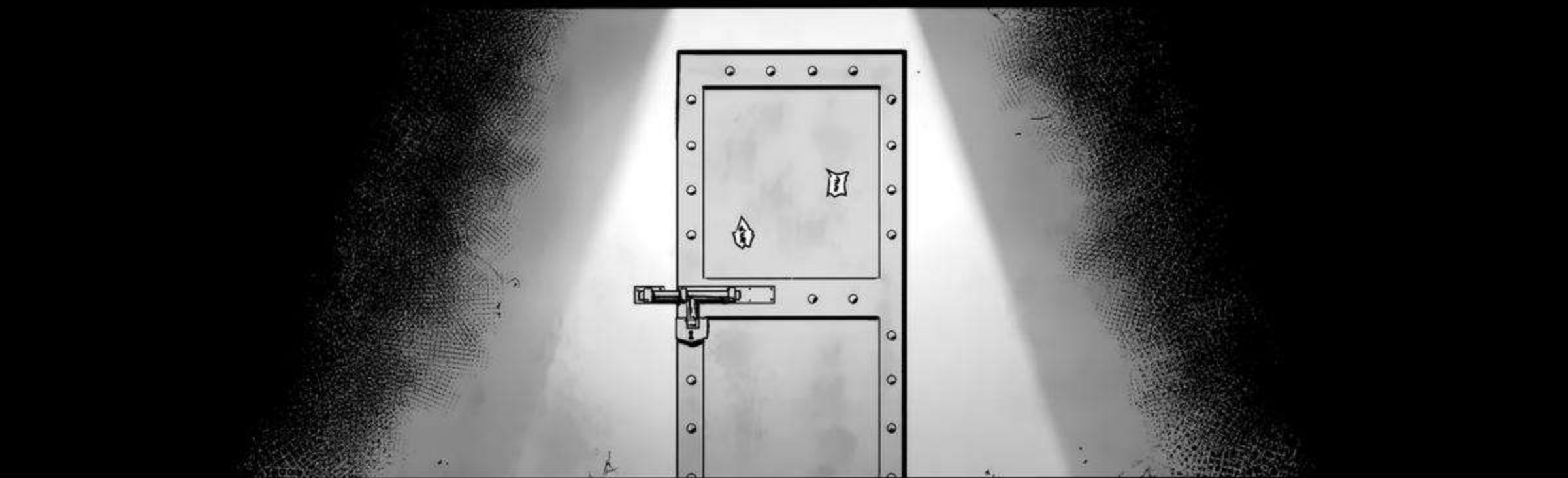
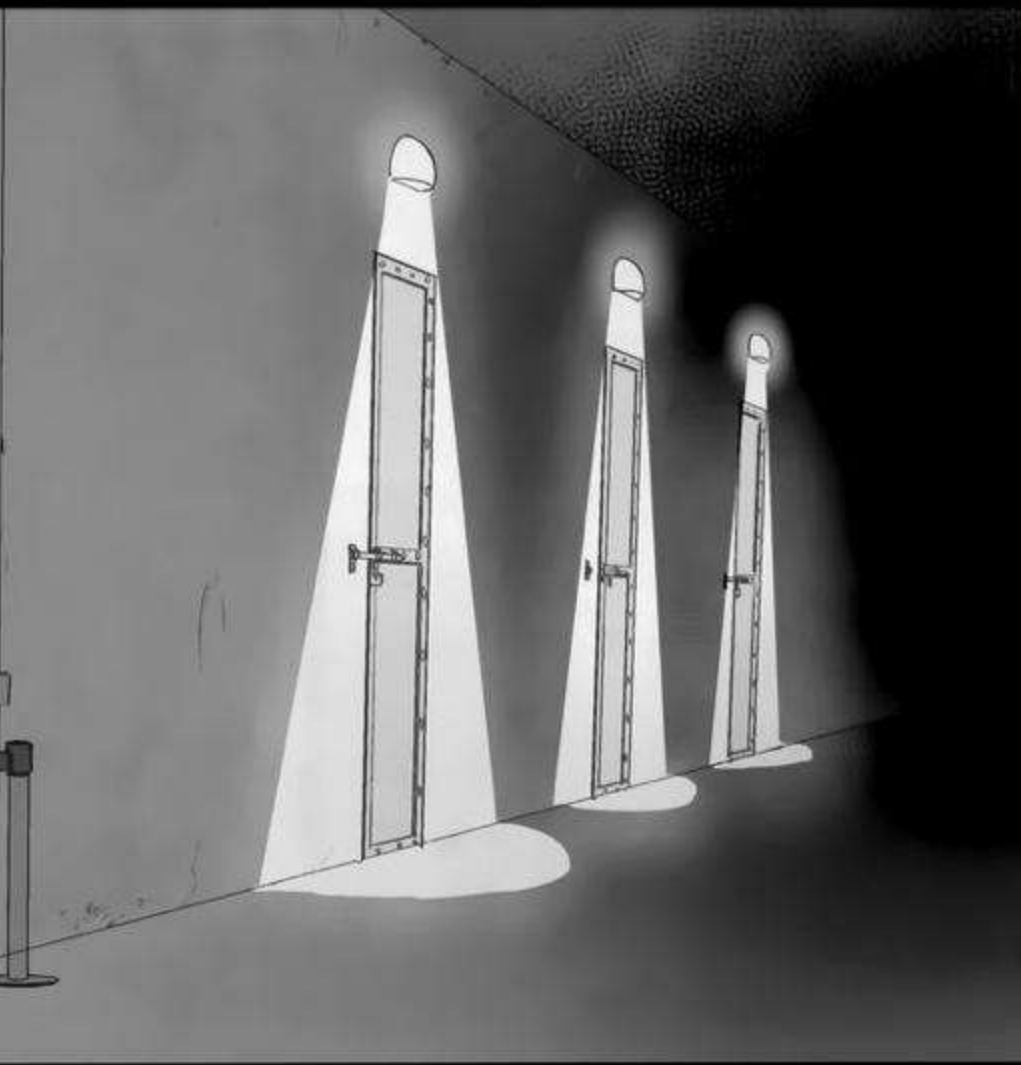
バタ

キ

...



カッ



...

...

...

...

...



感想用ほめて箱
他叱咤激励お待ちしております

発行日：2021/08/21

発行者：有魚／俎上の空欄

pixiv 6289657

twitter _ariu0

Mail: ea1iu0@gmail.com

印刷所：株式会社 栄光 様

※本書はフィクションです。実在の人物・団体とは一切関係ありません。

※本書の無断転載・複製・Web上へのアップロードを禁止します。

Any unauthorized reprint, repost, copy and upload are strictly prohibited.

